

簡易耐震診断を行ってみましょう！

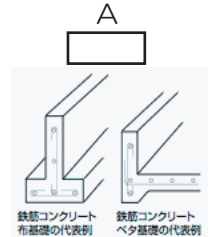
建物はいろいろな部材から成り立っています。基礎・壁・屋根・・・
 建物全体としての耐震性を判断するには、それぞれの部材について検討したり、
 建築年数や建物がたっている宅地の状況なども考えなくてはなりません。

この診断方法は、過去の地震被害、耐震研究の成果、建築基準法の耐震規定等
 をもとに作成されています。

それでは診断を始めましょう！

A：地盤・基礎 建物が建っている敷地の地盤と基礎の状況によって評点を求めます。

基礎の構造\地盤の状況	良い・普通	やや悪い	非常に悪い
鉄筋コンクリート造布基礎又はべた基礎	1.0	0.8	0.7
無筋コンクリート造布基礎又はべた基礎	1.0	0.7	0.5
ひび割れのあるコンクリート造布基礎	0.7	0.5	0.3
その他の基礎（玉石・石積・ブロック積）	0.6	0.3	0.1



B：建物の形 建物の形のバランスによって評点を求めます。

整形	1.0
平面的に不整形	0.9
立面的に不整形	0.8



C：壁の配置 建物の4方向の外壁の量のバランスを見るものです。

つりあいの良い配置	1.0
外壁に一面の壁が1/5未満	0.9
外壁の一面に壁がない（全開口）	0.7



D：筋かい 壁の中に筋かいがあるか、無いかによって評点を求めます。

筋かい有り	1.5
筋かい無し	1.0



E：壁の量 家の壁の量を5段階で評価し、評点を求めます。

壁の量\階数	平屋建	2階建
多い	1.5	1.2
やや多い	1.5	1.0
普通	1.2	0.7
やや少ない	1.0	0.5
少ない	0.7	0.3



F：老朽化 建物の老朽化の度合いによって評点を求めます。

健全	1.0
老朽化している	0.9
腐ったり、シロアリに食われている	0.8



A × B × C × D × E × F = 総合評点

診断結果判定表

総合評点

1.5以上
 1.0以上～1.5未満
 0.7以上～1.0未満
 0.7未満

判定

安全だと思えます
 一応安全だと思えます
 やや**危険**です
 倒壊**危険**があります

今後の対策

 専門家による診断を受ければ、なお安全です
 専門家による診断を受けてください
 ぜひ専門家と補強について相談してください